

2018年度『専門職大学院研究論集』（第10号）

論文募集要項

本年度の『専門職大学院研究論集』の応募は、以下の要領に従ってください。応募にあたっては、テーマ、内容等に関し、あらかじめ指導教員と密接に連絡を取ってください。

応募された論文は査読を経て、掲載の可否を決定します。

なお、2016年度より本研究論集は、研究成果を社会に広く還元する目的から、冊子体の刊行よりオンラインジャーナルとして専門職大学院ホームページでの電子ファイル掲載に切り替えました。

I 論文内容

1. 論文は、専攻分野に関して高度の専門性を備えた学術論文のほか、学術調査、共同研究を含め、学術上対外的に発表に値するものと認められるものでなければならない。
2. 論文は、専攻分野における研究に寄与するもので、明白な誤りがなく、さらに原則として他の公開の出版物に発表されていないものとする。
3. 論文の満たすべき具体的条件については、各研究科別に基準を設ける。ただし、全般にわたる論文の実証性・合理性については、以下の諸点に留意すること。
 - (1) 研究素材の理解が正しく、解釈に無理はないか。
 - (2) 事実認定に実情を無視したところはないか。
 - (3) 概念の使用が一貫しているか。
 - (4) 論理の進め方に不合理な点はないか。

II 応募資格

1. 本専門職大学院在籍者。
(聴講生・研究生・科目等履修生を除く。)
2. 本専門職大学院（法科大学院を含む）修了生で、在籍時の指導教員の承認を受けた者。
(指導教員が定められていない又は退職等の場合は、所属研究科専攻主任の承認を受けること。)

III 作成様式

1. 用紙：A4用紙，横書き
2. 字数：日本語 28,000 字以内，英語 16,000 ワード以内（図表含む）
3. 書式：44 字×34 行

IV 執筆上の注意

1. 論文本文
 - (1) 字数制限超過は認めない。
 - (2) 論文内容の目次をつける場合は、制限字数に含める。
 - (3) 注記も制限字数に含める。
 - (4) 日本語，英語以外の言語で作成する場合の制限字数は専門職大学院事務室各研究科窓口にお問い合わせのこと。

- (5) 注の書き方については、既刊の各研究論集を参考にすること。とくに、邦文文献名には『 』を付し、欧文文献名についてはイタリック体とすること。
- (6) 論文題名は、邦文題名には英文訳、英文題名には邦文訳、その他の言語を用いた題名には邦文訳および英文訳を記入すること。
- (7) 図表・グラフ等は、トレースしやすいものを提出すること。また、図表・グラフ等の数を添付書に記入すること。
- (8) 校正の際、原則として文章の加筆・訂正は認めない。

2. 論文要旨

- (1) 論文題名、執筆者氏名、500字以内の「論文要旨」、「キーワード(5つ)」を作成すること。これらは制限字数に含めない。
- (2) 書式は「Ⅲ. 作成様式」に従うこと。
- (3) 論文要旨3部を添付すること。
- (4) 論文要旨は本文とあわせて掲載される。

V 提出物

1. 次のものを紙媒体で提出すること。
 - (1) 論文本文・・・・・・・・・・3部
 - (2) 論文要旨・・・・・・・・・・3部
 - (3) 添付書(所定様式)・・・・・・・・1部
2. 論文の電子データファイル(図表がある場合は、それを含む)を、CD・USB等にて提出すること。その際、必ず氏名・研究科を明記すること。なお、メディアの返却は行わない。

VI 提出および刊行までのスケジュール

1. 予備登録：2018年10月1日(月)～10月11日(木)事務取扱時間内
指導教員の内諾を得た上、原則として専門職大学院事務室の各研究科窓口にて、氏名と論文題名を登録する。ただし、指導教員が未確定の者は、各研究科の専攻主任の内諾を得ること。
2. 論文提出：2018年10月17日(水)～10月31日(水)事務取扱時間内
提出物を全て揃え、専門職大学院事務室の各研究科窓口へ提出する。
3. 掲載可否の連絡：2018年12月中旬(予定)
4. 初校：2018年12月下旬(予定) 業者⇒本人、本人⇒業者 ※郵送費用は大学負担
5. 二校：2019年01月中旬(予定) 大学⇒本人、本人⇒大学 ※郵送費用は大学負担
6. 発刊：2019年03月中旬(予定)

VII その他

1. 抜刷：論文掲載者には、抜刷30部(共同執筆の場合は、合わせて30部)を贈呈します。なお、抜刷の増刷を希望する場合、二校終了時まで、専門職大学院各研究科窓口へ申し出てください。増刷分については、別途実費を徴収します。
2. 問い合わせ先：明治大学 教務事務部 専門職大学院事務室 各研究科

以上